

学校の概要

1 校章・校旗・校歌・校木

(1) 校章・校旗

- ①明治 25 年(1892 年)3 月 22 日の学校日誌に次のような記述がある。
「校旗ヲ制定ス 本校創立一番学校ト称シタル以テ一字を置ス」
図柄の記載はないが、この時の校章が図 1 であると思われる。
(昭和 3 年佐瀬家寄贈おひな様垂れ幕より)
- ②大正 5 年(1916 年)3 月 23 日の学校日誌の記述。
「臨時職員会議ヲ開キ授与式ノ協議ヲ為ス一、校旗授与式…」
この時の校旗は、大正 8 年の卒業アルバムに写真としても残っている。
- ③図 2 は昭和 9 年卒業生の成績優秀者に贈呈された硯箱にしるされていた。
- ④現在の校章(図 3)は昭和 24 年にバッジ(図 4)を制定した際に改定されたと思われる。
校旗は、昭和 28 年(1953 年)の 7 月 6 日の 開校 80 周年記念式典の際、記念事業として
「校旗の新調」が行われた。(右図 5)

(2) 校歌

- ①大正 13 年(1924 年)12 月 9 日 校歌採用許可
作詞 小倉 博 作曲 大槻 貞一
- ②昭和 28 年(1953 年)11 月 12 日 新校歌発表会
作詞 橋浦 兵一 作曲 福井 文彦
- ③平成 2 年(1990 年)9 月 7 日 ブラスバンド用
編曲 曾我 道雄

(3) 荒町行進曲

昭和 29 年(1954 年)10 月 18 日 発表会
作詞 橋浦 兵一 作曲 福井 文彦

(4) 校木「白萩」

校地に咲き誇る白萩の姿のように、子供たちが「明るく、楽しく、かぐわしく伸び伸びと成長して欲しい」との願いを込めて制定した。校章の「荒」の字のまわりを囲む模様にも使われている。

また、昭和 28 年制定の校歌にも「白萩の花 塵もな く 遠い歴史が薫ってる…」と歌われており、児童会も「白萩児童会」と称している。

(5) 開校記念日「7 月 3 日」

明治 6 年 5 月、創めて仙台市三百人町常林寺内に養賢堂手習道場の一部を移転して仮校舎として開設。7 月 3 日学制により「第二大学区第一中学校区一番小学校」と証したこと由来する。

2 学区の概要

(1) 地形

当学区は仙台市の市街地のほぼ中央に位置し、仙台の中町段丘に属した段丘礫層から成っている。

学区の南側には広瀬川が大きく蛇行して流れ、対岸には四季折々の風情を見せる愛宕山や大年時山等のなだらかな丘陵地帯が連なる。

(2) 歴史

慶長年間、伊達政宗が城下町を創設の頃は、現在の土樋が市街地の南辺で、寺社や侍屋敷などが所在していた。寛永年間の市街地拡張造成にあたり、南に伸びる奥州街道沿いに新町(荒町)が造成され、伊達家米沢藩時代からの町人町をここに移したと言われる。芭蕉の辻から南のメインストリートが当学区を通り、上染師町・田町・荒町・南鍛冶町など仙台藩の御譜代町として繁盛をきわめていた。

昭和20年7月9日の仙台空襲時にも、学区の大半は戦災を免れたため、現在も明治時代からの貴重な資料が学校に残っている。

(3) 現況

当学区は、仙台駅の南に隣接し、国道4号線と286号線・地下鉄が通る交通の要所にある。下町の風情を漂わせにぎやかな荒町や弓の町の商店街と閑静な住宅地区の土樋地区、そして五橋や青葉土樋のマンション群と三つの特色を持っている。

なお、区制施行にともない、当学区は4号線をはさんで青葉区と若林区、そして広瀬川向こうの太白区と3区にまたがっている。

(4) 学区図

